

2020/6/21-6/27相場見通し

品 目		
鉢 花	鉢花	ハイビスカスやブーゲンは量も減ってきており、相場は安定している。 ハイドランジアはだいぶ減ってきたが、販売はだいぶきつくなっている。 鑑賞樹なども含め全般的に売れ行きは鈍い。
	苗物	週頭は非常に苦しい販売となった。週中・週末と荷が減ったことにより、相場は戻った。 ピンカやジニア、ペンタス、アングロニアなど夏物を中心に動きがよい。 ペチュニアはいよいよなくなってきた。マリーも荷がない為高値。
観 葉	大鉢・中鉢	売れ行きは好調。入荷も例年より少ないことから相場は高め。
	小鉢	全般的にまずまず。アンスやグズなど花物観葉の売れ行きが復活してきた。 クロトンはまもなく終了。モンステラは品薄のため高値。
	ポット	葉物系観葉の引きが強い。多肉類はやや相場は弱め。
洋 蘭	コチョウラン	大輪系を中心によく売れている。店舗の再開や新規オープンなどの需要で 引き合いが強い。 ミディ系もまずまず。
	その他	夏のランであるグラマトを中心に引きが強い。入荷も少ないことから相場は高め。
	総括	経済再開の動きもあってラン類は好調。今月いっぱい引き合いが強いことが 予想される。売れているうちにどんどん荷を集めたい。

販売状況コメント

週頭の販売は非常に苦しかったが、週中から入荷が一気に減ったため、週末は全般的に相場が戻った。

花鉢はややきついものの、苗もの・観葉類・ラン類はよく売れている。ラン類は経済再開の動きに合わせ、
引きが一気に強くなっている。本来なら苦戦する時期だが、今月いっぱい引きがあるだろう。

苗ものは上下が激しいが、急激に増えない限りはなんとか売れそうだ。

観葉も例年より入荷が少ないことから相場は安定だ。

(株)フラワーオークションジャパン